



2021-22 年度
福山西ロータリークラブ

例会情報

第 1452 回 (1)

会 長 能 登 伸 一
幹 事 河 村 直 孝

クラブ会長テーマ：「ロータリーに参加して自分も人も豊かにしよう！」

日 時 2021 年 7 月 6 日 (火) 12:30 ～
場 所 福山ニューキャッスルホテル
例会行事 点鐘・ソング「君が代・奉仕の理想」
ゲスト・ビジターの紹介（出席報告参照）

例会情報

[会長報告](#)
[幹事報告](#)
[出席報告](#)
[S A A 報告](#)
[スマイル報告](#)
[プログラム情報](#)
[その他報告](#)

その他情報

[メイクアップ情報（来週分）](#)
[メイクアップ情報（再来週分）](#)
[今後の行事予定](#)
[クラブ活動報告](#)



*Ctrlキーを押しながらクリックするとそのページが表示されます。



【 会 長 報 告 】

○今日のBGMはエア・サプライ（オーストラリアのグループ）の“ロストインラブ”という曲で1980年大ヒット。私が19歳の時都会に憧れて晴れて親元から離れて暮らした大学2年生の時です。このさわやかさがたまらなく好きでした。

○お互いメンバーの好みを知るといことで梶原SAAの発案のBGM、よりメンバー同士の繋がりを強くするために始めたことで本当にいい企画だと思っています。

○第一回目の会長報告は佐藤前会長が聞いてくださいとおっしゃっていた西村栄時氏の会員増強委員会の卓話を聞いて（Youtubeを観て）の報告をします。

○「持続可能なロータリー」というタイトル

どうやって増やすかというのではなく会員増強の意義、目的を学びました。ロータリーには116年の歴史があり世界で120万人の会員がいるが頭打ち減少傾向にあります。日本は1996-97時13万人をピークに現在は9万人となっている。減少傾向の中でポリシーなき増強活動と社会環境変化のせいでロータリーを知らない会員、モラルの低下を招く結果となり会員としての自信、誇りが薄れていることが問題だと思っています。まず現会員がロータリーを愛することが大切、好きでないと誘えない（私の意見）

○ロータリーに誇りをまずは取り戻すべき

まずはロータリーの心を知ること、職業奉仕（ロータリーの金看板）について言及、職業奉仕の精神とは相手の立場になるロータリーであって「奉仕団体」「寄付団体」ではなく職業倫理を重んじる職業人の集いで自己啓発の場だということに自覚すべきで利己と利他の調和を図ること、つまり仕事しながら人として成長する（私の意見）。

さらに言うと、ロータリーは単なる巨大なボランティア団体ではない、見返りを求めない「超私の奉仕」普遍的価値観の「職業奉仕」「奉仕の理想」と呼ばれること＝ロータリーの真髄、存在の意義、永遠の挑戦！（ここまできるとちょっとわけがわからなくなってきました）。

とにかくロータリーの本質を理解して誇りをもつことで新しい仲間を増やす、そうしないと誘うことに説得力もない。

○ふさわしい仲間を誘う

その上で自然に任せていては必ず減ることを理解する。未来を託す人材を得るという意味で若い人に仲間になってもらうこと。また、女性をターゲットに、女性の明るさ、優しさ、素直さ、華やかさ、粘り強さ、細やかな心遣いは貴重であります。

精神は「1業種、1会員」。職業分類上未充填の方を優先する。ロータリーにとってその人は必要か、その人にとってロータリーが役に立つかを問うことが大切です。

そして、会員増強の理想は「あんな人になりたい、あんな人のいる組織に入りたい」、「あなたがそんなに誘うなら、あなたみたいになれるなら」（私の意見）という風になること。結果として世の中に高い職業倫理を有する謙虚で誠実、社会の貢献する誇り高いロータリアンが増えることになる。

【プログラム情報】

《 会長所信表明 》



皆さん、こんにちは。いよいよ7月に入り新年度がスタートしました。これから1年間会長としてどのようにしてかを3つのポイントに分けてお話したいと思います。私が掲げた活動方針テーマは「ロータリーに参加して自分も人も豊かにしよう！」です。

第一に入会して6年自分がどう豊かになったのか、二つ目はこの1年で自分に与えられた使命はどういうことだと理解しているか、そして最後にどんなスタイルで運営をしようと思っているかです。

自分がどう豊かになったか、6年前竹中年度の時に入会して当時44人の友達ができただけのことです。友達というのもおこがましいですね。私のことを仲間だといってくれるひとが44人もできたことです。また、奉仕活動にして自分にとって大きなことだったことを報告します。

一昨年4月に国際奉仕委員長ハイマンさんの自立し持続可能な支援とう目的で視察しました。ネパールに行って多くの衝撃的なことを観て体験させてもらいました。これほどまでに酷いところがあることをしり日本の素晴らしさと自分がどれだけ恵まれているかを痛感しました。

青少年奉仕委員会で行っている広島県東部中学校吹奏楽祭りは西ロータリークラブが行っている伝統の奉仕事業ということですが私も参加して中学生の素晴らしい演奏ももちろんですが、何より会長賞が発表された時の会場内の大歓声には毎回感動します。福山の中学生が西ロータリークラブの一等賞を取るために普段からすごく練習をしているのだと思うとこのクラブの一員であることに誇りを感じます。

職業奉仕委員会では皆さんがわが社を見学に来られたことが一番に思い出されます。社員みんなでどうみなさんに説明するかを何度も打合せをしました。ギリギリまで緊張していました。役割分担をして工場内を案内したあとこれまでしてきたいろんな取り組みを紹介しました。そしたら多くのお褒めのお言葉を頂いて社員はそれがうれしくておかげでその後の改善活動にもエネルギーが注入された感じです。

さらに、余暇（趣味）の部分がより充実してきたと実感しています。ゴルフはずっと好きでやってきましたがこのクラブでもまたクラブのメンバーと一緒にラウンドすることになってよかったと思っています。入会一年目の地区大会で優勝するなどロータリーのゴルフコンペになるとなぜか調子が良かったりスコアは悪くてもハンデに恵まれていつも賞品をもって帰ることになっています。

野球部にも所属しています。（そこで北さんの偉大さを知りました）過去2回恒例の天野杯に出場しましたがほとんど活躍できなかったことが悔やまれます。それ以上に他チームが我が福山西クラブのことを馬鹿にしていることが悔しくて対戦相手がうちだったらもう勝ったつもりでいるその様子に苛立ちました。現メンバーで見返すことは絶望的な感じがしていますので何とかこっちでも増強してまずは1勝をして北監督を喜ばせたいと思っています。

それから2年前、当時松井会長が「これからはロータリアンとして英語を話せるようにならないといけん！」という言葉に諭されて福山西ロータリークラブ英会話同好会が発足して以来ずっと参加しています。美人の先生に教わりながら最近ではほんのわずかですが文法的にはめちやくちながら出てこなかった単語が少しずつ口から出てくるようになってきたところです。

続いて私の使命の件です。まずは仲間を増やすことです。会員増強の意義目的をみなさんにもわかって頂いてシュカールメータが言う each one bring one 一人がひとりを連れてくることを実践してなんとか純増2名を実現したいと思っています。

そしてこのクラブの団結力が高まることを意識していきます。コロナ禍で顔を合わせる事が激減して何となくつながりの強さが欠けてきたような感覚をどうにかもとに戻すことです。

三つ目の使命はロータリー奉仕デーの開催です。杉川ガバナーのテーマ「多様性を認め合う社会」は私としても共感できることであります。鞆の浦ロータリークラブさん、同友会の方々と一緒になって支援学校の企業参観を計画しています。支援学校側も概ね前向きで11月25日が最有力の実施日です。何とか成功させたいと思っています。

そして使命の最後はDXの推進、具体的にはzoomの活用です。前年度から理事会では問題なくできていますし、結構便利で経済的です。みなさんどうか拒絶しないでそういう機会があったらチャレンジしてください。

最後に運営についてです。まずは理事役員の方々としっかりコミュニケーションをとります。クラブのことロータリーのことを深く理解されている方々ばかりなのでしっかり意見をきかせて頂きながら進めます。いつか申しました通り複雑な問題については4つのテストを念頭に方向を定めたいと思います。また、前年度佐藤会長がクラブのみなさんから集めたアンケート結果も意識して生かしていこうと思います。

とにかく皆さんのアドバイスを大切にしながら、逆にいえば率直になんでも言って頂けるような執行部、会長でありたいです。私は素直さだけが取り柄の男です。決してはぶてたりしませんので遠慮なくダメ出しをしてください。

以上が私の会長就任の所信表明となります。どうか一年間よろしく願いいたします。

《 幹 事 所 信 表 明 》



皆さんこんにちは。本年度、幹事を拝命しました河村でございます。

会歴は、6年とまだロータリーのことがよく理解できていない部分も多い状態です。前年度、瀬尾幹事の隣に座り、副幹事として1年間勉強させていただきましたが、同じように段取りよく理事会や会の運営を仕切っていけるか不安でいっぱいです。今年度、能登会長と一緒にロータリーのことを勉強するつもりで取り組んでいきますのでよろしくお願い致します。

コロナ禍の中で早めに活動計画書の作成に取り組んでいたおかげで本日無事皆様に活動計画書を届けることが出来ました。協力していただいた理事、委員長の皆様、事務局三ヶ島さんありがとうございます。今年度は、本日を含め年間41回の例会を開催します。活動計画書を少しご覧ください。

クラブフォーラム4回、親睦例会3回を含む例会変更も11回予定しています。さらに日程未定のため予定できていない、奉仕の森の環境整備・スピーチコンテスト・食料・衣料支援・障がい者支援などの奉仕のための例会変更もあります。

ガバナー補佐を招いてのクラブ協議会は8月24日。また、今回初めて福山北ロータリークラブとの合同でガバナー訪問とクラブフォーラムを9月10日に行う予定です。詳細については、今後北ロータリーと調整していきます。

10月17日の地区大会広島は、会場とのオンライン開催です。

今年度、能登会長の重点目標は、7つあります。

- ①会員数純増2名以上、女性会員1名以上
- ②会員同士の結びつき強化
- ③障がい者支援の具現化
- ④ロータリー奉仕デーの企画と実行
- ⑤委員会メンバー全員参加の委員会活動
- ⑥クラブのDX推進
- ⑦ロータリー賞へのチャレンジ

①と②は、西ロータリーの今後を左右する問題として黒木会員増強委員長を中心にみんなで協力して取り組みたいです。③と④は、既に福山北特別支援学校とぬまくま特別支援学校の両校長先生を含めジョブサートの土肥さんと連携を取りながら、そして鞆の浦ロータリークラブとの共同での開催支援を受け企画段階にあります。今のところ皆さん前向きに考えていただき、ここに中小企業家同友会福山支部のバリアフリー委員会も相乗りしてもらえるなど機運は高まってきています。あと、⑤は、コロナ禍が一段落すれば懇親を含めて委員会開催を企画していただきたい。⑥は、コロナ禍でも例会を中止するのではなく、オンラインでの開催が出来るよう、各会員さんのデジタル環境を把握していきたいと思います。前年度同様、理事の皆さんとは、万が一に備えて zoom を使ったの理事会が開催できるように準備していきます。今あげた活動に各委員会の奉仕活動がプラスされれば⑦のロータリー賞は、あとから必ずついてくると確信します。とはいえ、西ロータリークラブ会員の協力なしには何も達成できません。

私は、今年度、能登会長と西ロータリーを楽しく運営したいと思っています。ロータリー例会に何か変化をつけて参加したくてたまらない、みんなと会ったら元気になったそんな例会を企画してみたいと思っています。

SAA の梶原さんは、例会前に好きな音楽を流す。会員増強委員長の黒木さんは、簡単なゲームをして和やかな雰囲気です。そんなアイデアを考えてくれてます。私自身も皆さんから気軽に声をかけてもらえる幹事としてこの1年頑張りますのでよろしくお願いします。

最後に皆様、能登会長の目標を「絵に描いた餅」で終わらすことなく、達成感に満ちた1年でありますよう、ご協力よろしくお願いいたします。

以上で幹事の所信表明とします。

ご清聴ありがとうございます。



【その他報告】

《「ロータリーの友」誌紹介》

ロータリー情報委員会 登里 孝司



1. 横目次 P4 2021-2022 年度 RI 会長テーマ
「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」
2. 横目次 P6~7 2021-2022 年度 RI 会長メッセージ
 - ・会員増強へのお願い
 - ・女性の能力活用
3. 横目次 P10~17 2021-2022 年度 RI 会長人物紹介
 - ・ポジティブでエネルギーを感じさせるカリスマ的指導者
 - ・型にはまらない考え方の持ち主
 - ・友情を大切にする
 - ・根気強く人の話を聞く
 - ・約束は必ず守る
4. 横目次 P18~19 「ロータリー奉仕デー」の開催
 - ・年度内に少なくとも1回、実践的・行動志向の「ロータリー奉仕デー」のイベントを計画・開催するようお願いします。
開催するにあたり、下記要件を満たしてください。
 - ・二つ以上のロータリークラブ、ローターアクトクラブ、インターアクトクラブによって計画されたものである事
 - ・ロータリー重点分野に一致している事
 - ・イベントへの関心を高めるため、少なくとも一つのメディアで周知を行う事
 - ・参加者のうち少なくとも25%は、現ロータリー会員ではない事

5. 横目次P20~37 国内34地区ガバナーの紹介

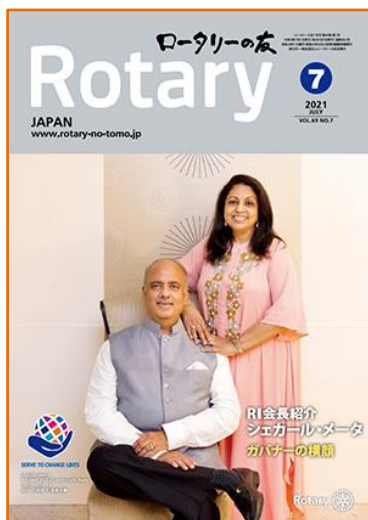
第2710地区杉川 聡ガバナーの紹介記事はP36に掲載

「やらないで後悔するより、やって失敗して学ぶ方がいい」と
常々言っておられるようです。

6. 縦目次P4~8

元国連事務次長 明石康氏の地区大会記念講演要旨「コロナ後日本はどうあるべきか」

- アメリカ、中国に次ぐ有力な国は日本とドイツ
- 国連の大きな機能は、①国連総会②安保理事会③国連事務総長と国連事務局
- 日本人はもっと外に目を向ける事が大切



《 ガバナー補佐 就任挨拶 》

RI 第 2710 地区 G11 ガバナー補佐 塩川 裕樹



今年度、G11 ガバナー補佐を務めさせていただきます塩川裕樹です。1年間、どうぞよろしくお願い致します。

7月1日からG11 ガバナー補佐の任期が始まりました。ガバナー補佐エレクトの任期を含めて2年間の任期を務めさせていただきます。ご承知の通り、福山西 RC では辰川先生、石川先生、宇田信士さん、竹中先生の4名の方々がガバナー補佐を務めておられます。また、当クラブには素晴らしい先輩の方々が多数おられますが、今回は諸事情により私が、その任を務めさせて頂くことになりました。

さて、ガバナー補佐の主な任務と役割は、クラブと地区をつなぎ、クラブのサポート役となり、クラブリーダーと関係を築きクラブが最大限に力を発揮できるよう援助することだと思います。福山西 RC の代表として、先輩ロータリアンの方々に少しでも近づける様努力と奉仕致します。また後程、能登会長よりお話があると思いますが、2021-22 年度 杉川ガバナーのガバナー信条は、【みんなのためになるかどうか。未来のためになるかどうか。多様性を受け入れ、相互理解を深めよう！！】になります。

クラブ運営の積極的支援として、クラブに今以上に役立つ「地区」になるために現在の運営内容（地区委員会の在り方、行事の在り方、組織）を見直し、多様性を認め合う社会・ダイバーシティ対応など。みんなのため、未来のためになる職業奉仕・社会奉仕と各クラブのためになる地区運営を目指します。杉川ガバナーは、63歳と年齢も若く、色々変えようと挑戦されています。

例えばガバナー公式訪問合同開催の推進、ガバナー月信におけるガバナー対談、クラブ活性化セミナーの開催などがあります。時間の関係で詳細は、後日改めてご説明させて頂きたいと思致します。

ちなみに G11 のガバナー月信のガバナー対談は、梶原さんと他2名の方に 2021/6/19（土）にして頂きました。秋ごろに発行予定ですので、是非皆さん是非楽しみにして下さい。

また、RI よりコロナウイルス感染症対策として6月末まで地区行事を原則 Web 開催との意向により、ロータリー活動にも大きな影響が出ています。ガバナー補佐会議は、6回中4回が終了しましたが、第1回と第6回以外は全て Web 会議の予定です。

- 地区 R 財団勉強会 2020/11/28 (土)
- PETS&地区研修セミナー 2021/3/14 (日)
- 地区研修・協議会 2021/4/25 (日)

も全て Web 開催となりました。

RLI も 3 回全て中止になりました。

但し、RLI を 1 日に凝縮したクラブ活性化ワークショップが、2021/9/11 (土) に開催されます。こちらは笹田会長エレクトが参加予定です。

また、今回新たにクラブ活性化セミナー(2日間開催)という日本の34地区のガバナー、ガバナー補佐、地区役員合計 約500名が参加する Web 会議に参加しました。基本的にガバナーを対象とした会議であり、発表される方は、日本中のPGばかりで様々な切り口で報告されており、大変興味深く拝聴させて頂きました。初めて何うことも多く、これからロータリーが大きく変わろうとしている最新情報を知ることが出来ました。

また、2021/7/3 (土) RI 第3地域 戦略計画推進セミナーも Web で参加しました。今年度の第3地域11地区のガバナーが地区の重点活動方針と戦略計画をひとり持ち時間10分で発表するというもので、もちろん杉川ガバナーも発表されました。

聞き手に回る事が何か不思議な感じがし、なかなか一度に11名のガバナーのお話を聞く機会がありませんでしたので、それぞれ特徴・個性のある方が、多く色々な意味で大変勉強になりました。そして、ガバナー補佐経験者の皆さんが、おっしゃる最も大変な RLI の DL という役割がなかったことは、負担が軽減されて良かったのですが、ガバナー補佐は、地区行事の研修・会議の多くに出席することでガバナー、各クラブ会長や他グループのガバナー補佐と意見交換や相談をするという大変貴重な機会が失われ少し残念に思います。

しかし、G10木村ガバナー補佐(福山RC)とは同期の会長で気心も知れており、また、お互いRI 会長賞も頂いたという縁もあり、電話とメールで頻りに連絡や相談をさせて頂きました。この為、次年度は初めてだと思いますがG10・G11で同じ考え方・同じ書式の文章を各クラブに案内することが出来ました。具体的には、ガバナーエレクトを囲む会、ロータリー奉仕デー意見交換会、ガバナー月信のガバナー対談、ガバナー補佐訪問・ガバナー公式訪問などの調整と事務的な準備は、福山西RCが担当し、本年度の準備は、ほぼ終了しました。

これから8月5日(福山南RC)から8月27日(福山北RC)までにG11内の5クラブを訪問し、ガバナー公式訪問までに活動状況、問題点などの意見交換を行いガバナーに報告するという大切な仕事が残っています。

そしてガバナー補佐として最大の任務は、IM の開催です。G10・11 合同 IM2022/3/26 (土)は、福山RCに本会議を担当してもらい福山西RCクラブはコロナ禍で不透明な部分もありますが、懇親会を担当することになりました。G10・11 合同 IM の打ち合わせを既に2回行っています。Web でも開催が出来る様、準備を進めています。詳細が、決まりましたら早急にご報告させて頂きます。

最後に会員の皆様、事務局の三ヶ島さんには大変なご負担をお掛けすることになりますが、1年間ご支援ご協力の程、よろしくお願い致します。

《 各種表彰等 》

・ 前年度会長幹事



前年度会長 佐藤 教夫 さん、前年度幹事 瀬尾 義裕 さん

・ 皆出席



皆出席通算 21 年 北 治郎 さん、連続皆出席 6 年 河村 直孝 さん

